

# 山形最上オフィス通信

第3号

発行：東北地域ブロックセンター

発行日：2010年6月24日

山形最上オフィスのアクセスはこちら↓

〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町674番地

最上町立中央公民館内

TEL 0233-43-9232

FAX 0233-43-2350



## 22年度スタート



### 目次：

22年度スタート 1

おしらせ 1

最上町SC調査 2

新たな人材 2

卒業生の声 2

フレッシュ新入生 2

### 最上町プチ紹介

夏は前森高原でアウトドアや乗馬体験、冬はスキー場でウィンタースポーツ。

歴史ブームの今、松尾芭蕉が逗留したという重要文化財の「封人の家」で歴史に触れるのもヨシ！

規模は小さめですが、季節毎にお祭りもやっています。

瀬見温泉や赤倉温泉でおいしいものを食べ、ゆっくりと温泉に浸かり、心も体も癒されてみてはいかがでしょうか？

是非みなさん一度は最上町に来てけらっしやい♪

やっと雪も融け、長い冬が終わった…と思っていたら桜もあつという間に散り、いよいよ初夏がやってきます。

いよいよ22年度が始まりました。皆様今年度も変わらず山形最上オフィスをどうぞよろしく願いいたします。

おかげさまで、21年度は東北地方から10人という結果になりました。6県全てから入学者が出て嬉しい限りです。内訳は以下の通りです。

青森県	入学	1人	卒業	1人
岩手県	入学	2人	卒業	1人
秋田県	入学	1人	卒業	2人
宮城県	入学	2人	卒業	2人
山形県	入学	3人	卒業	4人
福島県	入学	1人	卒業	1人

遠く離れた愛知県で初めての一人暮らし、新入生にとってはやはり期待と不安が大きいのではないのでしょうか？

新しい環境に慣れるまでが大変ですが、全国各地から学生が集まっているので様々な県の友達が出来ると、休日は近くの海に行ったり、名古屋で遊んだり、すぐに大学生活を楽しめると思います！

## おしらせ

昨年5月開設当初から、オフィスは最上町役場教育委員会の方々と同室で仕事を進めてまいりましたが、新年度(4月1日)より、今までの一室を当オフィス占有で使わせていただくこととなりました。

大学パンフレットや通信教育部で使用しているテキスト、指定アパートガイド等、資料を置いています。

とっても広くなりましたが、その分オフィス内は殺風景です。時間を見つけて配置を工夫したり、良い空間づくり

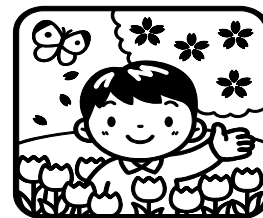


年度が変わって、入学生がいれば卒業生もいます。21年度は東北地方出身者11人が社会へと旅立ちました。

リーマンショックの影響もあり就職氷河期再来とまで言われる昨今、就職活動は本当に大変だったと思いますが、社会に出ればさらに大変な事や厳しい事が待ち構えています。しかし東北出身卒業生の方々なら本学で学んだ事や力を発揮し、困難を乗り越え様々な分野で活躍されると信じています！

余談ですが、今年度の新社会人タイプは「ETC型」だそうです。「効率性を重視するあまり人とのコミュニケーション不足」。うーん、「コミュニケーション不足」という部分はきっと本学卒業生にはあてはまらないのではないのでしょうか…。

新入生も卒業生も、新しい生活がスタートしています。同窓生、関係者皆で陰ながらのご支援をお願いしたいものです。



をしていきたいと思っています。皆さんお気軽にお立ち寄りください♪

今後、オフィス通信では学生さんや卒業生の生の声をお届けしていきたいと考えております。早速お話を伺ったので、裏面の記事も是非ご覧ください。

「オフィス通信に掲載してほしい」などの要望・ご意見等ございましたら、オフィスまでご連絡ください。

## 最上町SC調査

2月2日～4日の3日間、社会福祉学部の野口定久先生と永井裕子先生、他大学の先生2名、院生の山上さん、4年生13名が最上町ソーシャルキャピタル調査の為、来町されました。



今回の調査では集落の方を対象に、町での暮らしや人との繋がり等、ヒアリングを実施しました。

調査の他にも懇親会や子どもたちとの豆まきで町の人々と直接ふれあい、

皆さん初めてという雪かきでは「雪国の冬」を思う存分満喫してもらうことが出来たのではないのでしょうか？

今回参加してみて、集落の歴史等知らなかったことや気付かなかった点も多く、一町民として改めて町について考えさせられました。



微力ですが引き続き研究や調査のお手伝いをしていき、オフィス通信で報告したいと思います。

工作中的の山上さん。鈴木さんは恥ずかしいらしくフェードアウト…



今年度から最上町役場総務課まちづくり推進室では「地域おこし協力隊」制度を取り入れています。

集落の活性化支援や住民の生活支援などのまちづくり活動に参加していただくのは、協力隊員に委嘱された山上さんと鈴木さん。代表として、本学大学院修了生の山上さんにお話を伺いました。

## 新たな人材！



『私は大学院で「中山間地域の高齢者の方が住み続ける為の方法」を研究しており、指導していただいている野口先生にご紹介いただき、協力隊の活動を行うこととなりました。地域の人と一緒に住みよい最上町を作っていけたらいいと思います。』とのコメントをいただきました。

山上さん、鈴木さんこれからよろしくお祈りします！

## 卒業生の声



みなさんはじめまして。私は平成18年度、社会福祉学部を卒業いたしました富澤友博と申します。現在は知的障害者更生施設最上ふれあい学園に勤務し、利用者の生活支援に当たらせていただいています。

勤務してから3年という月日が経過しましたが、日々気付くこと、勉強になることが多い仕事だなと感じています。同じ日常でも、そこにいる利用者の心の様子は常に変化していきますから、「これだ」というものはありません。それが良くも悪くも私の仕事のやりがいだと感じ

ています。大変な時もありますが、たまに見せていただける利用者みなさんの笑顔が支えです。

福祉の仕事は現実が厳しいとよく言われますが、様々な道があります。道がなくても進むことはできます。ぜひ在学生のみなさんには、色々ある福祉の世界を、少しでも見て感じていただきたいというのが私の気持ちです。



## フレッシュ新入生



はじめまして社会福祉学部社会福祉学科アフタヌーンコース1年の山内理恵です。私は岩手県出身で3月末に美浜町に来て、勢和寮で生活しています。

私が日本福祉大学に入学した理由は、将来の夢に向けて大きな一歩を踏み出したと思ったからです。

私の夢はJICAで国際協力を行う事です。その前に社会福祉の基礎を学び、働きながら福祉の先進国であるヨーロッパ等へ福祉の実態を調査しに行ったりする等して自分の目で確かめてみたいと考えています。その為に大学生活は、たくさんの人に出会い色々な事



に挑戦していきたいと考えました。

日本福祉大学では全国から集まった学生が大勢おり、たくさんの人と出会いたいという私の希望に合っています。大学生活は始まったばかりですが、毎日毎日がとても充実していて楽しいです。そして学生が全国各地から集まっているので何より大勢の学生に毎日出会う事が出来ます。同じサークル・ゼミ・寮生等、様々な繋がりががあるので友達の輪が広がります。

今、高校生の方々には「やりたい事」や「将来の夢」がありますか？今しか出来ない事・将来の夢・友人等を大切にして、進路活動を一生懸命頑張ってください。

(宮古商業高校出身)